



Photo : YoshiroMasuda

掲載・取材に関するお問合せ先
香川県小豆島町 PR Office : HOW INC.
info@how-pr.co.jp Tel:03-5414-6405、 Fax:03-5414-6406

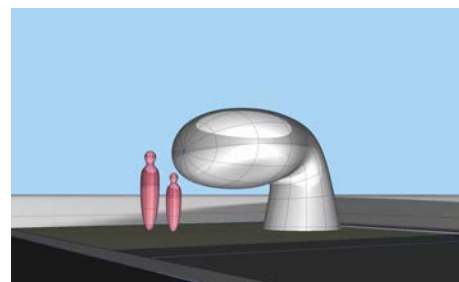
作品、プロジェクトより一部抜粋



Creator in Residence 「ei」/UMA design farm +MUESUM (イメージ画像)
Photo: 濱田英明



Someone's Coming!/ポーズ・アンド・ラオ/ (イメージ画像)



愛のボラード/清水久和 (イメージ画像)

UMA design farm +MUESUM : Creator in Residence 「ei」 (春・夏・秋)

「観光から関係へ -Relational Tourism-」をより深化させるCreator in Residence。「小豆島・坂手の未来」をテーマに、幅広い分野で活躍するクリエイターが滞在、小豆島・坂手に潜む資源と向き合い、住民と共に取り組み表現しアウトプットする滞在制作型アートプロジェクト。

滞在制作拠点: ei 2F STUDIO (旧JA香川県坂手出張所)

成果発表、展示場所: 小豆島在住の地域おこし協力隊・向井達也氏を中心に坂手にて展開中の「小豆島 空き地空き家プロジェクト (仮称)」と連携し、坂手のまちなかで展示・発表を行うことを計画。春・夏・秋会期ごとに各テーマで「調査・開発・展示・発表」を行う。

春会期の活動: 小豆島・坂手×バイオテクノロジー バイオラボ/YCAM山口情報芸術センター (研究所)

滞在期間 3/13 (日) -27日 展示期間 3月28日 (月) -4月17日 (日)

「YCAM InterLab」の新たなラボ。キュレーター、エドゥケーター、エンジニア、デザイナーなど様々なスキルを持つスタッフにより、「アグリ (農業)」「バイオ (生命) (生物)」「キッチン (台所/食)」の3テーマから未来の食のあり方に対して考察を深めるべく活動を展開。専門家や市民とのコラボレーションで、メディアテクノロジーの応用可能性の研究やオリジナル作品、ワークショップなどの制作、研究開発プロジェクトの成果発表、人材育成プログラムの実施等を行っている。

ポーズ・アンド・ラオ: Someone's Coming!

目の前に海が広がる海岸を歩き、オリーブ畑にたどり着くロケーションでインド人作家による作品が展開されます。以前、真珠の養殖に使われていた小屋を改装したギャラリーを思わせる空間内で、キャンバスで飾ったパネルが、人の動きを察知し多様な動きを見せます。オリーブの木々に囲まれた小さな小屋内のこの展示は、海岸沿いにあるため、満潮時には渡れない場合もあります。

設置場所: 池田港

清水久和: 愛のボラード (春・夏・秋)

駐車場の一角に巨大なボラード (係船柱) を立てることで、海からやってくるはずの何かに対して、人々の想像力をつくりだします。どんなに大きなものでも繋ぎとめられそうな力強く無表情な造形は、風景の中に開いた穴のように人々を引き寄せることでしょう。

設置場所: 二十四の瞳映画村前駐車場

小豆島

美しい海と山。雄大な自然に恵まれた小豆島は、長きにわたり、海の交流拠点としての役割を果たし、自然、文化、伝統、産業、人情など島のもつ魅力がじっくりと地層のように蓄積されてまいりました。瀬戸内海国立公園に浮かぶ、美しい自然に恵まれたこの町は、日本におけるオリーブ栽培発祥の地として、また、壺井栄の名作「二十四の瞳」を代表とする文学や日本映画の撮影地、中山農村歌舞伎などの様々な伝統文化、400年の歴史を誇る醤油をはじめとし、佃煮、そうめんなどの産業が盛んなまちとしても知られています。2010年から3年ごとに開催をされている瀬戸内国際芸術祭への参加を通し、最近では、アートの町としても話題を集め、この春、瀬戸内国際芸術祭2016が開幕いたします。内外のアーティストや地域の人々との交流が、人と人、島と島をつなぎ、瀬戸内の未来を拓く島を目指して取り組んでまいります。

小豆島 概要

小豆島は、瀬戸内海国立公園の中心地で、広さはわが国で19番目の島。20余の属島を含め、169.86km²の面積を誇ります。人口は約3万人（2014年現在）。古くは、吉備・備前の児島郡に属したが、弥生時代から塩が生産され、御名代地や皇室、神社などの塩荘園として発展しました。瀬戸内海の要衝にあって、漁業、造船、廻船業も盛んであったが、豊臣家の蔵入地となり、さらに江戸幕府からも加子浦に指定されてまいりました。また、10世紀ごろからこの島は海賊の拠点のひとつであったともいわれ、紀州熊野水軍や伊予村上水軍とも連携があり、島の水軍利用のため、近世に幕府などの直轄地となりました。江戸時代、良質で知られた塩が生産過剰になると、醤油の産地に転換、素麺、石材などとともに、島の経済を支え、江戸中期には讃岐高松藩の預り地となり、後期には、島の東部が伊予松山藩の預り地になるなど、離島らしいいくつもの変遷がみられました。1838年には島の西部が美作津山藩領となりましたが、明治になって香川県に所属、1878年に小豆郡を形成しました。44を数えた村が次第に統合され、1957年に土庄町・内海町・池田町の3町になり、その後2006年には内海町・池田町が合併して小豆島町が発足し、現在は土庄町・小豆島町の2町から成ります（2013年現在）。

小豆島 最新ニュース

- ・第88回選抜高校 野球大会 「21世紀枠」で出場

3月20日より開催される選抜高校野球に出場が決定。3月20日の開会式で、出場32校を代表して小豆島高校主将の樋本選手が選手宣誓を行うことが決定しました。

- ・小豆島町 合併10周年

今年3月21日に合併10周年を迎える小豆島は、「平和」と「文化」と「希望」に満ち溢れた 小豆島の実現に向けて、年間を通して様々な記念行事を行っていきます。

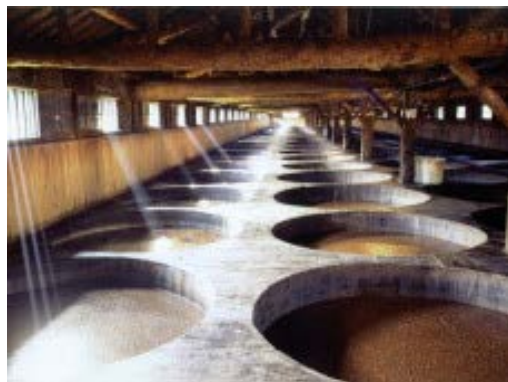
- ・移住者の増加

瀬戸内国際芸術祭2013をきっかけに小豆島を知り、観光だけではなく、さまざまな人とふれあい関係を築く中で、移住者が増えています。

- ・小豆島中央病院

これまで島にあった2つの公立病院を統合して、4月1日に小豆島中央病院が完成します。来年4月からは、島内の2つの高校を統合して「小豆島中央高校」が開校するなど、従来の住人、移住者にとって、心地よい生活基盤を整えています。

- ・小豆島町のFacebook ページがオープンいたしました。 <https://www.facebook.com/shodoshimacho>



瀬戸内国際芸術祭 2016 開催概要

名称： 瀬戸内国際芸術祭 2016/Setouchi Triennale 2016

期間： 春 3月20日(日・春分の日) - 4月17日(日) 29日間

夏:7月18日(月・海の日) - 9月 4日(日) 49日間

秋:10月8日(土) - 11月6日(日) 30日間

※ 会期総計: 108日間

※ 小豆島では、ゴールデンウィーク（4月29日-5月8日）、シルバーウィーク（9月17日-25日）も開催。

会場： 直島、豊島、女木島、男木島、小豆島、大島、犬島、沙弥島(春会期)、本島(秋会期)、高見島(秋会期)、粟島(秋会期)、伊吹島(秋会期)、高松港周辺、宇野港周辺

テーマ：海の復権

「島のおじさんおばあさんの笑顔を見たい。」—そのためには、人が訪れる“観光”が島の人々の“感幸”でなければならず、この芸術祭が島の将来の展望につながって欲しい。このことが、当初から掲げてきた目的『海の復権』です。今、世界のグローバル化・効率化・均質化の流れの中で、島々の人口は減少し、高齢化が進み、地域の活力の低下によって、島の固有性は失われつつあります。私たちは、美しい自然と人間が交錯し交響してきた瀬戸内の島々に活力を取り戻し、瀬戸内海が地球上のすべての地域の『希望の海』となることを目指し、瀬戸内国際芸術祭を開催しています。



新規作家アーティスト一覧

http://setouchi-artfest.jp/images/uploads/pdfs/j_2015tokyo_artists.pdf

作品鑑賞パスポート、フェリー乗り放題3日間乗船券について

<http://setouchi-artfest.jp/ticket-goods/>

<http://setouchi-artfest.jp/files/ticket-goods/passportshoplist-jp.pdf>

交通案内

小豆島は、瀬戸内海で2番目に大きな島です。本土からの橋はなく、必ず船に乗ります。船に乗ると国内旅行でも、どこか特別な感覚を覚えます。夕暮れのフェリーでは、瀬戸内海のサンセットをお楽しみいただくことができます。また、東京からお越しの場合には、新幹線のほか、羽田ー高松を飛行機で移動しフェリーに乗っていただくのが快適です。

